



999号より北九州市の夜景を望む

©松本 零士



北九州市 市勢概要2017

発行:平成29年9月
 企画編集:北九州市広報室広報課
 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp>
 TEL 093-582-2236 FAX 093-582-2243
 北九州市印刷物登録番号 第1704002B号



北九州市 市勢概要2017

GUIDE OF
KITAKYUSHU 2017



©松本 零士

夢を育み、輝く未来を創るまち ~北九州市~

このまちに生まれ、遊び、学び、働く。子どもを生子、育てる。人と出会い、集う。

北九州市は、多様なライフステージにおいて、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

ふれあい、つながり、支え合い、夢が育つプラットフォームであり続けます。

MESSAGE

北九州市は福岡県の北部に位置し、北側は日本海(響灘)に、東側は瀬戸内海(周防灘)に面する九州の玄関口です。

これまでに、「50歳から住みたい地方ランキング(民間雑誌)」で全国第1位、子育て環境は、「次世代育成環境ランキング(NPO調べ)」で6年連続政令指定都市第1位、第一回イクボス充実度アンケートの調査結果でも市区町村で第1位となるなど、「住みよいまち・北九州市」として、全国的に高い評価をいただいています。

また、世界文化遺産の「官営八幡製鐵所関連施設」に加え、平成29年4月に「関門“ノスタルジック”海峡」として日本遺産に認定された門司港レトロ地区を含む関門海峡など、後世に残していくべき文化財と我が国の伝統や文化を語るストーリーを有する魅力豊かな街です。

今回は、本市にゆかりのある漫画家の松本零士さんにイラストを提供していただき、幅広い年齢層にアピールできる冊子が完成しました。

この「市勢概要」では、本市の数多くの「いいところ」を紹介していますので、北九州市の「今」をぜひ感じてみてください。



北九州市長
北橋 健治

ACCESS

アジアの中で北九州市は東京と上海の中心に位置し、日本の玄関として機能性が高い都市です。さまざまな公共交通機関網が発達しており、「陸・海・空」すべての交通機能をご利用いただけます。

JR(新幹線・特急)を利用すると

- 東京駅まで約5時間
- 名古屋駅まで約3時間10分
- 新大阪駅まで約2時間10分
- 広島駅まで約50分
- 博多駅まで約20分
- 大分駅まで約1時間20分
- 熊本駅まで約50分
- 鹿児島中央駅まで約1時間40分

北九州空港を利用すると

- 東京(羽田)まで約1時間30分
- 名古屋(小牧)まで約1時間15分

銀河鉄道999号を利用すると

- 星野鉄郎、メーテルとともにアンドロメダ星雲へ向かいます。

北九州港には

- 東京・大阪(泉大津港、南港)・神戸・徳島・松山行きのフェリー航路があります。



INDEX

特集 P.03

- 北九州市文化大使 富永裕輔さんが「住みやすさ」を語る
- 北九州市の「住みやすさ」を知る
- 「世界に誇る遺産」を見る

北九州市の“今”をピックアップ P.09

- 就労サポート ●子育て・教育 ●安全と安心 ●産業力 ●環境力

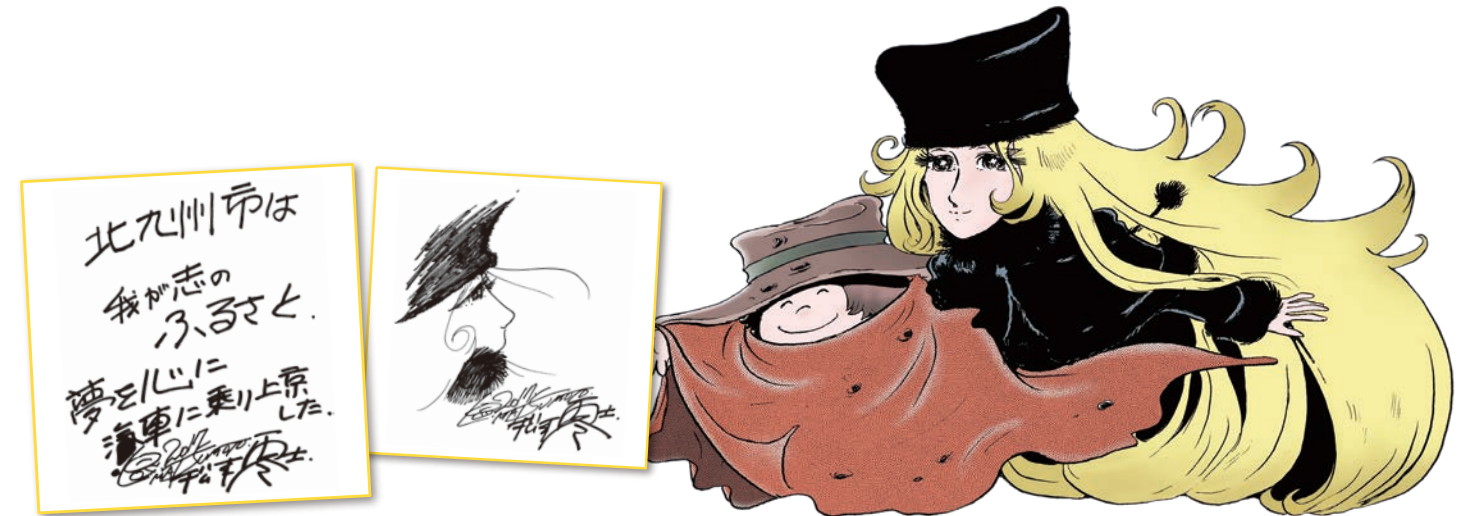
文化 & スポーツに触れる P.19

観光 & おでかけMAP P.21

食の宝庫 de 美味三昧、イベント de 文化創造 P.23

北九州市の歴史 P.25

データで見る北九州市、北九州市アラカルト P.27



PROFILE 松本 零士 (まつもと れいじ)

日本の漫画家。本名、松本 晟(まつもと あきら)。北九州市漫画ミュージアム名誉館長。福岡県久留米市生まれ。小学校3年生のとき小倉市(現在の北九州市)に移る。高校在住時に漫画家デビューし、卒業後に上京。東京都練馬区在住。旭日小綬章、紫綬褒章、フランス芸術文化勲章シュバリエ受章。称号は練馬区名誉区民。代表作に『銀河鉄道999』『宇宙戦艦ヤマト』など。SF漫画作家として知られるが、少女漫画、戦争もの、動物ものなどさまざまなジャンルの漫画を描いている。アニメ製作にも積極的に関わり、1970年代半ばから1980年代にかけては松本アニメブームを巻き起こした。



北九州市文化大使

富永裕輔さんが「住みやすさ」を語る

北九州市文化大使の

シンガーソングライター

富永裕輔さんに

北九州市の住みやすさ、

街への思いについて

お話を伺いました。



PROFILE 富永 裕輔 (とみなが ゆうすけ)

北九州市出身。北九州市文化大使。シンガーソングライター、音楽プロデューサー。早稲田大学アカペラサークル活動を経て、平成19年プロデビュー。NHK北九州放送局80周年記念事業「きたきゅうのうた」グランプリ受賞『ひまわりの花』、福岡ソフトバンクホークス和田毅投手登場曲『War』、福岡県アジア交流イメージソング『亜細亜の夢追い人』等、多くのタイアップソングを手掛ける。平成29年『War』で世界デビュー。

Q 生まれ育った北九州市の魅力は？

私は小倉南区の自然豊かな環境で育ちました。小学校の前には畑が広がっていて、わんぱくばかりしていましたね。辛いときも風景に心を癒され、動植物との触れ合いの中で音楽に対する感性も培われたと思います。

北九州市の魅力は、**やっぱり自然と人ですね**。近くに海も山もあるし、少し車を走らせると雄大な自然



が楽しめる。シャイなところはありますが、世話好きな人が多くて、外から来た人も温かく迎える**懐の深さ**を感じます。あとは、ものづくりを大切にしている風土ですね。商人というより職人氣質。北九州市でイベントをするときは、みんなで一緒につくりあげる一体感があって、アーティストとしてやりがいを感じます。

Q どんな音楽活動をしていますか？

福岡県内を中心に、東京、アジアでのライブステージ、学校や各種施設でのコンサート活動、ラジオ番組のパーソナリティも務めています。東京でデビューして4、5年経ったとき、自分を育ててくれた**故郷に感謝の気持ち**を込めて、『ひまわりの花』という歌をつくりました。この曲ができてから、北九州市で歌う機会をたくさんいた



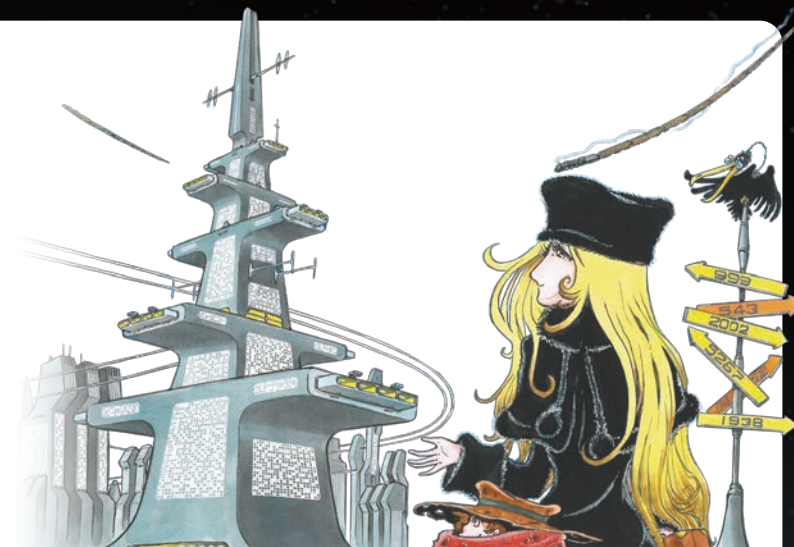
だくようになり、地域に根差した活動をするようになりました。

最近では、若戸大橋、戸畑祇園大山笠など、地域のテーマソングづくりが増えています。平成29年4月、若松の学研都市に誕生した「ひびきの小学校」の校歌を作詞作曲しました。皆さんと一緒に開校式で歌ったことは、一生忘れられない幸せな経験です。

Q 北九州市の「住みやすさ」は？

北九州市は子育て支援や医療機関が充実していて、安心して暮らせる場所がいいですね。行政のサポート体制が手厚くて、**子どもを育てやすい環境**が整っています。また、年を取って仕事を引退した後も、好きなことを学べる施設や特技を生かせる場所、発表の機会もたくさんあって、寂しい思いをせずにずっと楽しく暮らせるまちです。

身近な地域に必要なものは何でもそろっていて、街で買い物もできるし、スポーツ施設や図書館もある。新幹線や飛行機、フェリーなど交通網も整っていて、**便利でアクセスがよい**ところも大きな魅力です。豊かな自然があって、街なかでもきれいな空と山が見られることも、住み心地のよさにつながっていると思います。



Q 北九州市のPRメッセージを。

北九州市は5つの市が合併して生まれました。違いを超えて一つになった歴史があるため、お互いの個性を認めて尊重し合う風土があり、「**一人一人が主役になれるまち**」です。歴史や伝統を大切にしつつ、新しい文化も積極的に取り入れるところが、北九州市ならではの長です。多種多様なものが共存し、共生していることは、まちのパワーになっていると思います。

各区にさまざまな見どころがあり、おもしろいイベントも多いので、たくさんの方に訪れてほしいです。そして気に入ったら、ぜひ住んでいただきたいです。これからも地域の魅力に光を当てるような応援ソングをつくり、音楽を通して北九州市を広くPRしていきたいです。



北九州市は
あたたかいわ
富永さん

北九州市の「住みやすさ」を知る

北九州市は、都会の便利さと田舎の快適さをあわせ持ち、幅広い世代が住みやすさを実感できるまちです。子育て支援、シニアライフ支援、物価の安さ、充実した医療支援などが高く評価され、さまざまなランキングで日本一に選ばれています。



勝山公園(小倉北区)

次世代育成環境ランキング 6年連続第1位!

平成28年度「次世代育成環境ランキング」(NPO法人エガリテ大手前)において、北九州市は6年連続で政令指定都市第1位に選ばれました。これは、自治体の子育て支援の取り組み状況についての環境評価を行っているもので、「出産環境」「乳幼児保育」「小児医療」などが高評価となり、調査開始後12年間のうち11年間、全国の政令指定都市で第1位の評価を得ています。

INTERVIEW

暮らしも遊びもアクティブに楽しめる安心して子育てができる街です。

現在5歳の娘の子育て中で、小倉に住んでいます。仕事は福岡市内が多いですが、帰ってくるとホッとしますね。北九州市は子育て情報が入手しやすく、「**ほど良い**」都会で買い物も便利。近場に遊べる施設が多くて、料金は安いし、どこも混み過ぎているのがうれしいです。充実した救急医療も安心ですね。地域に根差した祭りが多いことも大きな魅力。娘にどんどん地元愛を伝えていきたいと思っています!



タレント
えもと りえさん

北九州市 1位

- 京都市 2位
- 熊本市 3位
- 岡山市 4位
- 名古屋市 5位
- 相模原市 6位

平成28年度「次世代育成環境ランキング」政令指定都市の上位6自治体

50歳から住みたい地方ランキング 第1位!!

平成28年に初めて実施された「50歳から住みたい地方ランキング」で、北九州市が第1位に選ばれました。「生涯活躍のまち」構想を推進する191の市区町村を対象に、「移住支援」「住宅対策」「生涯活躍のまち」「シニアライフ支援」「医療介護体制」の5ジャンルを評価。病院や介護施設の充実、「お試し居住」などの移住者歓迎度の高さなどが高く評価されています。

北九州市 1位

- 新潟市 2位
- 高知市 2位
- 宇部市 4位
- 豊後高田市 4位

平成28年7月宝島社
月刊誌「田舎暮らしの本」8月号

INTERVIEW

仕事も親孝行もできる環境に感謝! Uターンしてきて本当に良かったです。

母親の介護をきっかけに、東京からUターンしてきました。子どもたちが自立し、夫も地方勤務になり、ちょうどいいタイミングでしたね。北九州市は**医療介護体制が充実**していて、介護では何も困ることがなかったです。以前はNGOで働いていましたが、帰郷後すぐに就職活動をして56歳で今の職に就きました。地域の方たちとつながり、改めて5市合併ならではの個性豊かな魅力、まちのパワーを感じています。



レディスやはた 館長
本田 多衛子さん

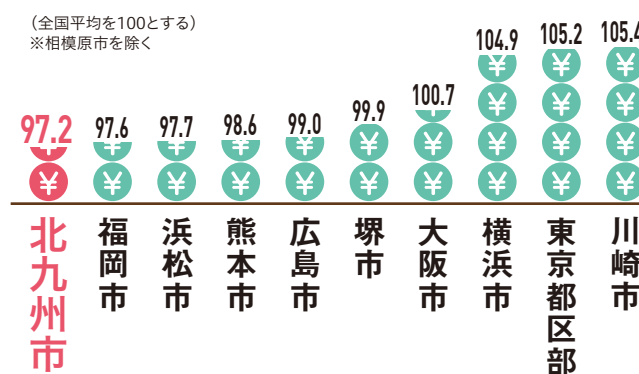


住みやすそうな街ね

政令指定都市で物価の安さ 第1位!!!

物価の全国平均を100とすると、最高は川崎市の105.4、次が東京都区部(105.2)。最も低いのは前橋市(95.9)で、奈良市(96.0)、佐賀市(96.5)、鹿児島市(96.6)、宮崎市(96.9)、北九州市(97.2)と続いています。北九州市は政令指定都市では最も物価が安く、都市別でも6位となっています。

政令指定都市別消費者物価地域差指数^{※1}



※1 資料:総務省平成28年平均消費者物価地域差指数

INTERVIEW

物価が安くて、アクセスも抜群! 人が温かくて住みやすい街です。

元々北九州出身なのですが、首都圏のクラブにも所属したこともあり、北九州の住みやすさを改めて感じています。**首都圏と比べて**家賃や食費などの物価が安いことは、毎日生活するうえで本当にありがたいですね。医療環境も整っていて、何かあったときは安心して治療を受けられますし、交通機関が充実しているので、アウェーの試合でも移動がスムーズです。市民の皆さんがとても温かくて、応援の声は大きな励みになっています。



ギラヴァンツ北九州
池元 友樹さん

鉄郎、この街に二人で暮らしたいわ



「世界に誇る遺産」を見る

北九州市には、地域と共に歩んできた古い歴史を持つ文化財が多数あり、国内のみならず世界でもその価値が認められています。

貴重な建築物や伝統的な祭りなど、

市内各地に魅力があふれています。



非公開施設。写真提供：新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所



明治
32年
建設

官営八幡製鐵所日本事務所

中央にドームを持つ左右対称形の赤煉瓦建造物で、長官室や技監室、外国人顧問技師室などが置かれました。大正11年、製鐵所の規模拡大に伴って管理機能が移転した後は、鉄鋼研究所や検査部門などに利用されました。

世界文化遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

明治日本の産業革命遺産

わが国は、幕末から明治にかけて、西洋技術の導入と日本の伝統技術との融合により、急速な産業化を成し遂げました。その歴史の歩みを証言する産業遺産群が世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」です。8県11市に広がる23資産からなる遺産群で、北九州市・中間市の官営八幡製鐵所関連施設の4施設が構成資産として、登録されています。

明治
33年
建設



非公開施設。写真提供：新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所

官営八幡製鐵所 旧鍛冶工場

製鐵所建設に必要な鍛造品の製造を行う目的で、ドイツのゲーテホフマックスヒュッテ(GHH)社の設計と鋼材を用いて建設された鉄骨建造物。製鐵所の拡張工事により増築され、その後、大正6年に現在地へ移築されて製品試験所になりました。

明治
33年
建設



非公開施設。写真提供：新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所

官営八幡製鐵所 修繕工場

製鐵所で使用する機械の修繕、部材の製作加工などを行う目的で、旧鍛冶工場と同様、GHH社の設計と鋼材を用いて建設された鉄骨建造物。その後、鋼材生産量の増大に伴って3回増築されました。創業から現在まで110年以上の間、修繕工場として稼働し続けています。

明治
43年
建設



非公開施設。写真提供：新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所

遠賀川水源地ポンプ室

遠賀川の河口から約10キロの場所に建設された八幡製鐵所の取水・送水施設。八幡製鐵所第一期拡張工事に伴う工場での水不足を補うため、操業を始めた。明治建築の典型的な煉瓦建造物であり、動力を蒸気から電気に変えて、現在も稼働しています。(中間市)



毎年7月の第4土曜日を挟む3日間

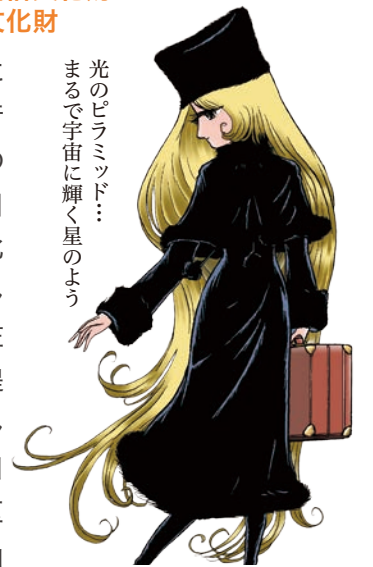
北九州市の伝統行事「戸畑祇園大山笠行事」は、210年を超える歴史を持ち、福岡県夏の三大祭りの一つとして親しまれています。

ユネスコ無形文化遺産 戸畑祇園大山笠

- 国指定重要無形民俗文化財
- 県指定有形民俗文化財

平成28年12月に「戸畑祇園大山笠行事」を含む全国33の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。昼は勇壮な幟山笠が、夜には美しい提灯山笠に衣替えをします。7月第4土曜日の夕方には、4地区から大山笠と小若山笠が一箇所に集結し、「ヨイトサ」のかけ声とともに、豪華で迫力ある競演を繰り広げます。平成26年には、日本夜景遺産にも認定されました。

光のピラミッド…まるで宇宙に輝く星のよう



日本遺産 平成29年4月認定

関門“ノスタルジック”海峡

関門地域の魅力を語るストーリー「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」が、文化庁の日本遺産に認定されました。福岡県内では、太宰府市に次ぐ2件目の認定です。

古来より陸上・海上交通の要衝だった関門地域には、下関・門司両港の開港以降、沿岸部に重厚な近代建築が続々と建設されました。海峡を外国船が行き交う景観の中、レトロな建造物群が、時が停止したかのように現在も残されています。渡船や海底トンネルを使って兩岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができます。



▲旧古河鉱業若松ビル



▲関門海峡



▲旧門司三井倶楽部

INTERVIEW

文化財を活用して地域の魅力を発信し、まちを元気に！

関門海峡日本遺産協議会 会長
(北九州市立大学 教授)

南博さん



「日本遺産」とは、地域の文化財や伝統文化などの歴史的魅力や特色を活用し、地域活性化を図ることを目的とした制度です。門司、若松や下関には数多くの歴史的建造物や伝統文化があり、そのうち42件が「関門“ノスタルジック”海峡」の構成文化財です。日本遺産認定は、国内外からの観光客を増やす機会として期待され、私たち市民が地域に愛着を持つ契機にもなります。

北九州市と下関市のさまざまな人々と行政が連携して、平成29年6月に関門海峡日本遺産協議会を立ち上げました。今後も両市で協力し合い、地域を元気にする取り組みを進めていきます。世界遺産も含めて北九州市には日本の近代化と産業の発展を支えた遺産や、**現在も活用されている価値のある施設**が多く、まちの貴重な財産だと思います。

北九州市の 就労サポート

北九州市では、定住・移住する人への
就職支援も万全です。
若年者から中高年齢者、
女性や起業を目指す人など、
北九州市での就職を応援します。



女性の「はたらく」をワンストップでサポート！ 国、県、市の連携施設「ウーマンワークカフェ北九州」

全国初!!

平成28年5月にオープンした「ウーマンワークカフェ北九州」。国・県・市の支援機関が1カ所に集まる全国初の施設で、女性の就業カウンセリングや求人サポート、保育情報の提供など、さまざまなサービスをワンストップで提供しています。

女性の就職支援

国の「マザーズハローワーク北九州」では、全国のハローワーク求人票が検索でき、子育てと両立できる仕事の紹介など相談者の状況に合わせた就職支援や、各種セミナーの開催をしています。また、子育て中の女性を対象にきめ細やかな支援を行う「福岡県子育て女性就職支援センター」や市の「保育士・保育所支援センター」「母子家庭向け就業支援」などさまざまな事業を行っています。

創業相談

これから創業を検討している女性や、創業して間もない女性を対象に、創業・経営に関する相談に応じるなど、創業全般に関する支援を行います。



▲相談しやすい環境も整っています。

子育てとの両立支援

保育サービスコンシェルジュが、就職と併せて保育所入所などの保育サービス相談に応じます。



▲就職や創業など各種セミナーも開催しています。



ウーマンワークカフェ北九州

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1 AIMビル2階
●開館時間:10~18時 ●休館日:日、祝日、年末年始
●お問い合わせ先:093-551-0092

U・Iターン応援プロジェクト

北九州市へのU・Iターン就職希望者と市内企業をつなぐ独自のサービスです。インターネットを活用した求人情報等の提供や市内・東京2カ所の常設窓口での相談など、遠方の求職者も市内近辺に住む家族も無料で利用できます。また、定期的な出張相談などを実施するほか、地元就職促進に向けた、学生やその保護者向けのサービスも実施しています。



▲北九州市U・Iターン応援オフィス



北九州市U・Iターン応援オフィス

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1 AIMビル2階

●開館時間:10~18時 ●休館日:日、祝日、年末年始 ●お問い合わせ先:0120-0823-46

学生たちの未来を見据えたキャリア教育

北九州市では、主体的に進路や職業を選択する力を育む「キャリア教育」に力を入れています。その取り組みとして、仕事や学びについて考え、地域の魅力を知るイベント「北九州ゆめみらいワーク」を開催しています。主に小・中学生・高校生を対象に、企業・大学・短期大学・専門学校の人々と交流する機会を設け、社会との関わり方や将来の働き方について、楽しみながら考えていきます。



北九州ゆめみらいワーク

大盛況だった平成28年に引き続き、平成29年も8月に開催しました。

参加企業・学校等 約140社

来場対象 小・中学生・高校生・大学生
保護者・教員など

来場者数 延べ6,600人



▲今年は約140の企業や学校が参加しました。

シニア・ハローワーク

北九州市の高年齢者就業支援センターでは、高年齢者の多様な職業ニーズに応じた就業機会の提供を行っています。専門のカウンセラーによる「適性診断」「キャリアカウンセリング」、スキルアップのための「能力開発講座」も実施するなど、「再就職支援」を総合的にサポートしています。

また、全国で初めて、おむね50歳以上の求職者を重点的に支援する国の「シニア・ハローワーク戸畑」と一体的な活動を行うことで、高年齢者などが生きがいを持って活躍できる機会の創出につなげていきます。

創業支援の充実

「日本一スタートアップしやすい街」を目指して、産学官が一体となった創業支援を行っています。地域の創業支援事業者と連携した相談窓口の設置、専門家による支援、創業セミナーの開催、インキュベーション施設の設置などを実施。創業時に必要な資金調達のための融資制度も整っています。起業をキーワードにつながる「北九州スタートアップネットワークの会」では、毎月1回、起業家や支援機関がフラットな関係で交流会を開催しています。



わしもこの街で働いてみようか…



北九州市の子育て・教育

北九州市では、子育て日本一を
実感できるまちを目指し、
安心して子どもを産み育てることができる
環境づくりを進めています。

到津の森公園(小倉北区)

小児救急医療の充実で安心できる子育てを!

北九州市には、24時間365日の小児救急を実施している小児救急センター(八幡東区・市立八幡病院内)、国立病院機構小倉医療センター(小倉南区)をはじめ、夜間・休日の小児救急体制が充実しています。また、24時間体制で救急医療の問い合わせに応じるテレフォンセンターも設置しています。



子ども医療費支給制度の充実

北九州市では、平成28年10月1日より「乳幼児等医療費支給制度」を拡充し、「子ども医療費支給制度」を新たにスタートしました。北九州市内に住所があり、健康保険に加入している中学校3年生(満15歳に達する以後の最初の3月31日)までの子どもを対象にしています。助成の対象が広がり、所得制限が廃止されました。

通院助成は6年生まで

医療費のうち、保険診療による自己負担額を一部助成します。小学校就学前までだった通院助成の対象が広がり、小学校6年生まで助成を受けられるようになりました。入院については、出生から中学校3年生まで無料です。

助成を受ける方法

子どもが県内の医療機関にかかるときは、「健康保険証」と「子ども医療証」を医療機関の窓口に提示することにより、助成が受けられます。子ども医療証の交付手続きは、各区役所、一部出張所で行います。

「ペリネイタルビジット」事業 【お産前後の子育て相談】のすすめ

政令市
初!!

北九州市では、産婦人科医、小児科医と連携して産前産後の子育てを応援しています。安心して楽しく子育てをしてもらうために、妊産婦等が小児科医を訪問して無料で保健指導を受けられる「ペリネイタルビジット」をすすめています。市の事業としては、政令市初の取り組みです。

産婦人科医が小児科医を紹介

産婦人科医に申し出ると、希望する小児科医の紹介が受けられます。対象は初産の妊産婦とご家族、相談期間は妊娠28週から産後2カ月まで。育児不安が強い場合は、経産婦も対象になります。

どんなことでも相談OK

赤ちゃんの病気や日頃のケア、子育てのことなど、小児科医がいろいろな相談に応えます。早くから小児科医と顔なじみになることで、安心して育児に臨めます。

子育て支援施設の充実

子育て中の保護者の負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援拠点として、JR小倉駅近くに「子育てふれあい交流プラザ」、JR黒崎駅近くに「子どもの館」を設置。親子で気軽に訪れ情報交換や育児相談ができる場所として、市内7区の区役所などに、「親子ふれあいルーム」を開設しています。また、子育て情報誌の発行や、情報サイト「子育てマップ北九州」も開設しています。

子育てマップ北九州

検索

<http://maps.kosodate-fureai.jp>

北九州市立子育てふれあい交流プラザ

親子で楽しく遊んだり、学んだり、体験したり。子育て、親育ちのヒントがいっぱいの屋内施設。主に就学前の子どもとその家族を対象としています。



北九州市立子どもの館

子どもから大人まで楽しめる、遊び・体験・子育て・交流の施設です。250人収容可能な「子どもホール」、誕生会や会議に利用できる「パーティールーム」などの貸館もあります。



赤ちゃんの駅

授乳やオムツ替えなどで立ち寄れる施設を「赤ちゃんの駅」として登録しています。各施設は、「子育てマップ北九州」に掲載しています。



子どもひまわり学習塾

児童生徒の学習習慣と基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための支援として、放課後などを利用し、小・中学校の教室で自主学習を行う「子どもひまわり学習塾」を実施しています。大学生や教員OB、地域の人などが自主的な学びをサポートすることで、児童生徒に分かることの喜び、学習することの楽しさを知る機会を提供しています。

TOPIC

イクボス充実度 ランキングで 北九州市が第1位!

NPO法人ファザーリング・ジャパンの「第1回イクボス充実度アンケート調査」で、北九州市が市区町村部門で1位を獲得しました。調査は、職員の仕事と生活の両立を応援する「イクボス宣言」を行った自治体を対象に行われ、幅広い取り組みが高く評価されました。

雪、僕たちも
ここで
子育てできた
いいね



北九州市の安全と安心

北九州市では、安全な環境で安心して暮らせるまちを目指して、認知症支援、医療、防犯、防災などさまざまな取り組みを行っています。



安全・安心に関する市政評価 「防犯、暴力追放運動の推進」第1位

北九州市では、平成16年に初めて地域の自主防犯組織である生活安全パトロール隊が結成され、現在では全ての小学校区で、地域のパトロール活動や通学路の見守りが行われる等、市民などによる安全・安心の取り組みが活発に行われています。その結果、刑法犯認知件数は、平成14年の約4万件をピークに減少し、平成28年には約5分の1にまで減少しています。また、平成28年の市政評価アンケート結果では、「防犯、暴力追放運動の推進」が2年連続で1位になるなど、市民から高く評価されています。

北九州市安全・安心条例

北九州市では、平成26年7月に「北九州市安全・安心条例」が施行されました。この条例では、市民や北九州市を訪れる人が「安全・安心を実感できるまちを実現し、それを次世代に継承すること」を目的に、市民、地域団体、事業者、学校と市が、一体となって安全・安心なまちづくりに取り組んでいくことを定めています。

1万人の防犯パトロール大作戦【生活安全パトロール隊】

生活安全パトロール隊をはじめ地域の皆さんの長年の地道な活動を、より多くの市民に知ってもらい、活動参加のきっかけとしてもらうとともに、本市の安全・安心の取り組みを市内外に発信するため、安全・安心条例を施行した平成26年から「1万人の防犯パトロール大作戦」を実施しています。



充実の医療機関と救急医療

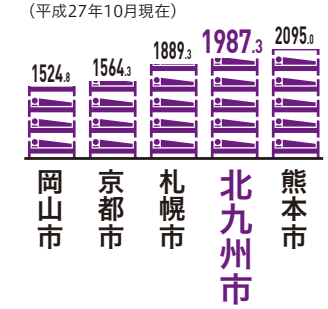
救急医療体制の整備

患者の状態に応じた三つの段階からなる救急医療体制を整備しており、一刻を争う救急車での搬送は、医療機関と連携を図り、受け入れ体制の整備に努めています。救急車の119番受信から病院到着までの時間は、全国の大都市で2番目の早さとなっています。

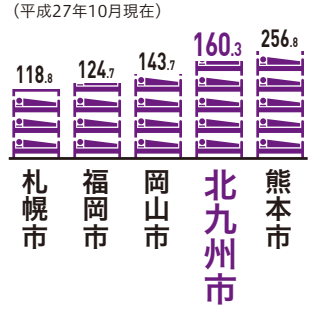
充実の医療機関・病床数

北九州市の人口10万人あたりの医療機関数は、政令指定都市の中で病院が第3位、診療所が第5位です。病床数は、病院・診療所ともに第2位となっており、医療機関・病床数ともに十分に確保されています。

人口10万人あたりの病院病床数※



人口10万人あたりの一般診療所病床数※



※ 資料：保健福祉レポート2016(北九州市)

北九州市認知症支援・介護予防センター

社会的な課題となっている「認知症」と「介護予防」について力を入れて取り組むため、平成28年4月、「北九州市認知症支援・介護予防センター」を開設しました。いつまでも住み慣れた地域でいきいきと自分らしい生活を送るため、「認知症支援」と「介護予防」に取り組み、各種事業を展開しています。

センターの主な取り組み

- 情報発信** 認知症や介護予防に関する最新情報、地域の取り組み紹介など。
- 人材育成** 「認知症サポーター」や健康づくり推進員の養成講座、北九州市が独自に開発した「きたきゅう体操・ひまわり太極拳」の普及員講座、身近にある公園での健康づくりの普及員講座など。
- 地域での活動支援** 運動・栄養・口腔分野の専門職を派遣し、効果的な介護予防方法を紹介。地域での高齢者の見守りネットワークづくりや行方不明者の捜索模擬訓練の実施支援。



▲定期的に講座を開催し、7万人以上の認知症サポーターを養成しています。

市民みんなでつくる「災害に強いまち」

北九州市では、災害から命を守りぬくために、「自助」意識の醸成や、「共助」の風土づくりを目指して、「みんなde Bousaiまちづくり推進事業」に取り組んでいます。この事業では、市民が主体となり、「地区Bousai会議」や訓練を通じて、自らが住む地域の特性をふまえた地区防災計画を策定するとともに、市内の大学生を対象に新たな地域防災の担い手となる人材の育成を進めています。



また、災害時に市民が命を守る適切な判断・行動がとれるように、さまざまな災害ごとにその特徴や避難の心得、地域ごとの備えるべき災害を確認するためのハザードマップなどを掲載した「防災ガイドブック」を全戸に配布しています。

北九州市はみんなが安心して暮らせる街なんだわ！



北九州市の産業力



北九州市には、ものづくりを支える高度な技術力が集積しています。専門性と熱意のある人材、豊富な食材などさまざまな強みを生かし、北九州市だからできる新しい産業の創出、数々のユニークな取り組みを行っています。

「国家戦略特区(地方創生特区)」でさらに成長!! 新しい産業と雇用を創出する北九州市の新たな取り組み

北九州市は平成28年1月に特区指定を受け、地方創生の成功モデル都市に向けたさまざまな取り組みを進めています。国家戦略特区とは、特定の地域を選定して規制改革などを行い、経済の活性化を図る制度です。北九州市では、介護ロボットの開発や道路空間を活用したイベントの開催、シニア・ハローワークの設置、豊かな自然環境を活かした特区民泊、若松産のワインづくりなどが行われています。

介護ロボット等の実証実装

「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応」をテーマに、介護ロボットの開発と活用に取り組んでいます。介護職員の作業負担を軽減するために、市内の特別養護老人ホームで、どんなロボットが役立つか調べる実証実験も行われました。



歩行リハビリ支援ツール「Tree」▶

公道を活用したにぎわいの創出

特区指定により、道路空間を活用したオープンカフェやマルシェ等を継続的に実施できるようになりました。門司港レトロ地区、魚町サンロード、小倉井筒屋クロスロード、八幡けやきテラス等で、地域団体による公道を活用したにぎわい創出の取り組みが行われています。



クロスロードマルシェ2017▶

陸海空のインフラで産業を支える

本州と九州の接点に位置する北九州市は、交通の要衝でもあり、陸・海・空の交通が充実しています。市内は公共交通機関が整備され、北九州空港、新幹線、フェリーの利用で遠方へのアクセスも便利。平成28年には、東九州自動車道の北九州市から宮崎市までが開通し、新たな高速道路網が形成されています。



「リノベーションまちづくり」で地域活性化!

北九州市では、平成23年度から小倉駅に近い商店街を中心に「リノベーションまちづくり」を進めてきました。空きビルや空き家などの遊休不動産をリノベーションの手法を用いて再生し、産業振興、雇用創出、コミュニティ再生、エリア価値の向上などに取り組んでいます。

まちづくり事業者や不動産オーナーと連携して事業を展開し、市内の各地区に新しいコンセプトのシェアオフィス、集合型ショップ、カフェ、レストランなど、人が集う活気ある空間を生み出しています。

魚町サンロード商店街

リノベーションで新たなにぎわいを創出したことが評価され、平成29年、経済産業省が選定する「はばたく商店街30選」に「魚町サンロード商店街協同組合」が選ばれました。



自由ヶ丘地下歩道

九州女子大学の学生有志が、公共空間の「道路」をリノベーション。古い劣化の進んだ地下歩道の壁面にアートを施し、明るく楽しい歩行空間に蘇らせました。



TOPIC

リノベーションの最高賞を受賞!

北九州市のリノベーションまちづくりを盛り上げてきた建築士・田村 晟一朗さん(株式会社タムタムデザイン)が、「リノベーション・オブ・ザ・イヤー2016」(一般社団法人リノベーション住宅推進協議会主催)の総合グランプリに輝きました。

俺は友のため、この街のため
生涯かけてやり遂げる



TOPIC

海のインフラを利用したクルーズ船誘致

北九州市では、西海岸(門司区)、ひびきコンテナターミナル(若松区)の二港にクルーズ船寄港の誘致を行っています。海外から来る乗客や乗組員へのおもてなしに力を入れ、買い物や観光による経済効果が期待されています。



北九州市の環境力

北九州市では、「世界の環境首都」を目指して市民と企業と行政が連携し、さまざまな取り組みを進めています。資源循環やエネルギー、水インフラなどの分野で先駆的な事業を行っています。

響灘風力発電施設(若松区)

北九州次世代エネルギーパーク

地球と技術のチカラを感じる施設が響灘地区に集積！

経済産業省から認定を受け、平成21年に若松区響灘地区で次世代エネルギーパークが始動しました。多種多様なエネルギーが集積しており、太陽光・風力等の自然エネルギー、リサイクルから生まれるバイオマスエネルギーなどの施設見学のほか、エコタウンセンター別館内にある展示コーナーではエネルギーについて学ぶことができます。

洋上風力発電

洋上風力発電は、陸上風力発電と比べて設置することができる領域が広く、年間を通して比較的安定した風を得られることなどから、欧州を中心に導入が進んでいます。日本では北九州市沖と千葉県銚子沖の2カ所に国内初の洋上風車が設置され、発電を行う実証実験が行われてきました。平成29年2月には、響灘地区の港湾区域における洋上風力発電設置事業者が決定するなど、洋上ウインドファームの実現化に向けて動き出しています。



TOPIC

水素社会実現に向けた取り組み

北九州市は、究極のクリーンエネルギーとして注目されている水素エネルギーを有効活用する水素社会の実現を目指し、燃料電池自動車の公用車への率先導入や購入助成による普及拡大、「スマート水素ステーション」によりCO₂を全く排出しない水素製造実証など先導的な取り組みを推進しています。



▲スマート水素ステーション

資源を循環し、廃棄物ゼロを目指す北九州エコタウン事業の推進

世界に誇る環境技術：「トチロー」にも知らせたいわ

エコタウン事業とは、「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること(ゼロ・エミッション)」を目指し、循環型社会の構築を図る事業です。北九州市では、環境・リサイクル産業の振興を柱とする「北九州エコタウンプラン」を策定し、平成9年に国から承認を受けました。基礎研究から技術開発・実証研究・事業化に至るまで総合的に推進しています。平成29年9月現在25社26事業が展開され、日本最大級の規模を誇っています。

世界からも注目される北九州エコタウン事業

北九州エコタウンは、循環型社会づくりのモデルとして、世界から注目されています。

廃棄物処理の問題に直面しているアジア地域などからの関心も高く、国内外から要人を含め、年間約10万人が視察や見学に訪れており、累計で150万人を超えました。



環境力を活かした国際展開

北九州市は公害克服の経験やノウハウ、アジア諸都市とのネットワークを活かし、国際協力を推進してきました。その技術力は世界的にも高く評価され、環境や上下水道等に関する国際ビジネスへと発展しています。

国際技術協力

インドネシア第2の都市スラバヤ市で、北九州市発の生ごみコンポスト化協力事業を実施。廃棄物の減量と資源化に成功し、上下水道、都市開発などの幅広い分野で協力関係を構築しています。



プノンペンの奇跡

カンボジアの首都プノンペンでは、北九州市の技術支援により、飲用可能な水道水の24時間供給を実現。漏水の早期発見や盗水の削減にも成功し、「プノンペンの奇跡」と呼ばれています。



TOPIC

北九州市の水事情 きれいで安全な水を、より安く！

●水道料金の安さは県内1位 大都市の中では第3位！

北九州市の水道料金は、全国の大都市と比較すると大阪市、浜松市に次いで第3位。温水にも強く、水道水を安定供給しています。(平成29年3月末時点)

●工業用水料金は 政令市の中で最安値！

機械の冷却や製品の洗浄などに使われる工業用水を安い料金体系で提供し、北九州市のものづくり企業を支援しています。

●下水道普及率は99.8% 大都市の中で第4位！

北九州市の下水道は、平成28年度末現在で普及率が99.8%。全国の大都市と比較すると、大阪市、東京都、横浜市に次いで第4位です。



豊かな文化と北九州市の誇り 文化 & スポーツに触れる

北九州市は、誰もが文化やスポーツを楽しむことができるまち。漫画家・松本零士さんが名誉館長を務める北九州市漫画ミュージアムをはじめ、文学、演劇、音楽イベントなどで、全国に質の高い文化を発信しています。そして、プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」が市民の心を熱くしています。



北九州市出身・ゆかりの「作家・漫画家」一例

- | | | | |
|------------|--------------------|--------------------------|--------------|
| 作家
森鷗外 | 俳人
杉田久女 | イラストレーター・作家
リリー・フランキー | 漫画家
北条司 |
| 作家
林芙美子 | 俳人
橋本多佳子 | 漫画家
関谷ひさし | 漫画家
陸奥A子 |
| 作家
火野葦平 | 詩人
宗左近 | 漫画家
松本零士 | 漫画家
文月今日子 |
| 作家
岩下俊作 | 詩人・童話作家
みずかみかずよ | 漫画家
キクチマサフミ | 漫画家
萩岩陸美 |
| 作家
劉寒吉 | 作家
松本清張 | 漫画家・イラストレーター
わたせせいぞう | 漫画家
冬木りか |



北九州市漫画ミュージアム

小倉北区浅野二丁目14-5 あるあるCity5・6階

平成24年、数々の著名な漫画家を輩出した北九州市に開館。「見る・読む・描く」をテーマに、漫画文化を広く紹介しています。地元ゆかりの漫画家の作品展示のほか、漫画の歴史や仕組みについて解説する「漫画タイムトンネル」「漫画の七不思議」や、データベースをゲーム感覚で操作できる「漫画の街 北九州」などもあります。約5万冊の蔵書を自由に読める「閲覧(よむ)コーナー」では、専門スタッフがおすすめの作品を紹介。また、定期的に漫画を描くワークショップも開催し、年間を通して漫画やアニメに関するさまざまな作品の企画展も行っています。



北九州市立文学館

小倉北区内4-1

北九州市にゆかりのある文学者を紹介するとともに、貴重な文芸資料の展示のほか、パネルや映像を通じて北九州市が持つ豊かな文芸土壤に触れることができます。



北九州市立美術館

戸畑区西鞘ヶ谷町21-1

昭和49年、西日本における公立美術館の先駆けとして設立。豊富な収蔵品を常時展示すると同時に、企画展を開催しています。個性的な形の建物は、建築家・磯崎新氏が設計しました。



北九州市立松本清張記念館

小倉北区内2-3

松本清張の七回忌にあたる平成10年8月4日に開館。社会派推理小説をはじめ、歴史小説、古代史、現代史など、多岐にわたって創作活動を続けた作家・松本清張の業績を称え、松本清張の生涯や作品だけでなく、東京都杉並区の自宅および書庫、応接間、書斎なども見ることができます。

森鷗外旧居

小倉北区鍛冶町一丁目7-2

文豪・森鷗外が、旧陸軍第12師団軍医部長として小倉に着任したときに住んだ家です。明治32年6月に赴任し、1年半をこの鍛冶町の家で過ごしました。軍務のかたわらこの家で「我をして九州の富人たらしめば」「鷗外漁史とは誰ぞ」などを発表し、翻訳も手掛けました。東京に帰ってから書いた小説「鶏」は、この家が舞台となっています。鷗外が去った後はかなり改造されていましたが、昭和56年に市が買収して復元しました。



芸術文化の催し

北九州芸術劇場を核とした舞台芸術の創作や公演、室内楽専用ホールである響ホールを拠点に開催される北九州国際音楽祭、アルモニーサンク北九州ソレイユホールでの合唱事業など、市内外から注目を集める催しがまちに根付いています。



ギラヴァンツ北九州

平成22年にJリーグに参入した北九州市初のプロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」。プロスポーツチームの存在は地域に活力を生み、その活躍は市民の誇りとなり、子どもたちに夢と感動を与えます。平成29年2月にオープンしたスタジアムを拠点に、さらなる飛躍を目指しています。



北九州フィルム・コミッション

北九州市は、平成元年から映画やドラマ等の撮影誘致と支援に取組み、平成12年には全国に先駆けて、北九州フィルム・コミッションを設立。雄大な自然、近代的な都市景観、レトロな街並みなど多彩なロケーションを生かし、撮影を全面的に支援しています。市民エキストラの登録数は約8,000人。数多くのロケが市内各地で行われ、「映画の街」として国内外の映画・ドラマ製作関係者から注目を集めています。街ぐるみの撮影協力が評価され、「東京ドラマアワード2014・特別賞」「第23回福岡県文化賞」「平成28年度ふるさとづくり大賞」を受賞しました。

北九州マラソン

平成26年に市制50周年記念事業のフィナーレイベントとして初開催されました。第4回目となる北九州マラソン2017では、1万人以上のランナー、5,500人を超えるボランティア、沿道からは約25万人の声援が送られるなど、北九州市の魅力が全国に発信しました。



ミクニワールドスタジアム北九州

小倉北区浅野三丁目9-33

平成29年2月、小倉駅新幹線口から徒歩7分の場所にオープンした「ギラヴァンツ北九州」のホームスタジアム。Jリーグやラグビートップリーグの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンドゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放やイベントの開催など、市民に夢と感動を提供しています。



私と一緒に旅をしましょう

① 火野葦平資料館

若松に生まれ、故郷と河童を愛した作家・火野葦平。資料館は若松市民会館内にあり、復元された書斎や写真パネル、日記やノートなどが展示されています。



思い出に残る場所が多い北九州市を紹介！

② 若松バンド

若松南海岸通りの「若松バンド」は、大正期の建物を中心とした近代港湾都市固有の帯状の都市空間です。石炭で栄えた歴史を伝え、景観的にも優れた地域です。



③ 安川電機ロボット村

産業用ロボットの最先端をいく安川電機が、平日の日中、黒崎にある八幡西事業所の一部を一般に公開しています。その名も「ロボット村」。100種類以上の植物や樹木が茂る「YASKAWAの森」や体感型施設の「安川電機みらい館」、技術の宝庫である「ロボット工場」など、ものづくりの“いま”を知ることができます。「みらい館」と「ロボット工場」は、事前予約制です。



④ 長崎街道木屋瀬宿記念館

木屋瀬は、豊かな自然に抱かれて、街道と水運で栄えた宿場町。かつて舟着き場の目印だった大銀杏は、今は長崎街道木屋瀬宿記念館の目印となっています。歴史への旅体験をテーマとした「みちの郷土史料館」と芝居小屋風の多目的ホール「こやのせ座」からなる長崎街道木屋瀬宿記念館は、宿場町の御茶屋（本陣）・町茶屋（脇本陣）跡地に建っています。旅人の気分を味わいながら、宿場町の風情を感じることができます。



⑤ 河内藤園

世界各地から観光客が訪れる八幡東区の山間部にある広大な私営藤園。4月下旬～5月中旬には22種類の藤の花が咲き乱れ、11月下旬頃には約700本の紅葉が見ごろを迎えます。



⑥ 皿倉山

ケーブルカーとスロープカーを乗り継ぎ、山頂に行けば、北九州のまちを一望する大パノラマが広がります。「新日本三大夜景」に選ばれた美しい夜景スポットとしても有名です。



⑨ 旧松本家住宅

明治専門学校（現九州工業大学）の創設者、松本健次郎が建てた明治後期の建造物で、徹底したアール・ヌーボー様式が特徴。設計は、東京駅を設計した辰野金吾の主催する辰野・片岡事務所。国の重要文化財です。



⑩ 曾根干潟

小倉南区の東側に広がる市内最大の干潟（面積517ha）。多種多様な生物が生息し、冬には大陸から渡り鳥が飛来してきます。古くから漁業が営まれており、人々の生活の場としても重要な干潟です。



⑪ 平尾台

日本有数のカルスト台地で、国立公園に指定されています。羊の群れのように見えるのは、石灰岩。地下には国の天然記念物である千仏鍾乳洞などいくつかの鍾乳洞があり、自然の神秘を実感できます。

北九州市は見どころいっぱい!! 観光 & おでかけMAP

大都市なのに、自然もいっぱい。それが、北九州市の魅力です。まちの根幹である“ものづくり”を感じる施設や、文化に親しむスポットも盛りだくさん。新発見も、再発見もありそうなワクワクの冒険へ、出かけましょう。



⑦ 門司港レトロ

明治から大正にかけて、大陸と日本をつなぐ玄関口だった門司港。当時の面影をいまに残す美しいまちには、カフェや雑貨店が並びます。夜景の名所でもあり、展望室もあります。



⑧ 小倉城

慶長7年(1602年)に細川忠興公が築城した名城、小倉城。昭和34年に再建され、現在は1階から5階まで見学できます。歴史ゾーンや城内体験ゾーンなど、見応えも満点。

TOPIC



北九州工場夜景

全国屈指の工場地帯である北九州市では、陽が沈むと幻想的な灯りに照らされる工場夜景が見られます。小倉・戸畑地区沿岸の広大な製鐵所とその関連工場や、洞海湾沿岸の化学工場をはじめ多種多様なプラント群など、大規模な工場群が深い闇の中で美しく重厚な景観をつくり出します。海上から鑑賞できる「工場夜景観賞クルーズ」は、大変人気があります。



北九州市のうまいもの
星の海で命つきるまで
忘れない

北九州のご当地グルメ



小倉焼うどん

終戦直後、焼きそば用のそば玉がなかったため、代用としてうどんの乾麺を使ったのが始まりだとか。いまや小倉名物として定着しています。



門司港焼きカレー

ご飯の上にカレー、チーズ、卵をのせ、グラタン風にオープンで焼いたもの。店によってトッピングも多彩です。チーズの香ばしさが美味。



戸畑ちゃんぽん

戸畑が日本一の遠洋漁業基地だった70～80年前に誕生。長崎とはひと味違うコシの強い蒸した細麺が特徴です。



八幡ぎょうざ

八幡製鉄所で働く製鉄マンに愛された、安くてスタミナ満点の一皿。店によって味わいもさまざま。食べ比べも楽しめます。



ぬか炊き

サバやイワシなどの青魚をしょうゆやみりんなどで煮込み、ぬかみそや山椒などを入れて炊いた郷土料理。ご飯にも、お酒にもぴったりです。

北九州市は“うまいもん”だらけ 食の宝庫 de 美味三昧

北九州市は、食材の宝庫。まちを囲む海と山、そして生産者の愛情に育まれ、生まれた名産の数々は、郷土の誇りというにふさわしい逸品ぞろいです。



若松潮風キャベツ

玄界灘に面した畑で、潮風を浴びながら育ったキャベツは、ミネラルが豊富で甘みたっぷり。



合馬たけのこ

日本の一流料亭に出荷されるその味は、まさに日本一。旬の新鮮なタケノコは、生食も可能です。合馬では、タケノコ掘りもできます。



関門海峡たこ

関門海峡の速い潮流にもまれて育ったタコは、身が引き締まり、風味が豊か。かめばかむほどうま味が増し、ふくよかな甘みがあると評判です。



若松水切りトマト

与える水を極限にまで減らして育てたトマト。フルーツ並みの糖度と、程よい酸味を備えた逸品の野菜です。



小倉牛

霜降りの鮮やかさや色、艶など、厳しい肉質検査を通してはじめて「小倉牛」の称号が与えられます。うま味あふれる肉汁と舌の上でとろけるような食感が、小倉牛の真骨頂。

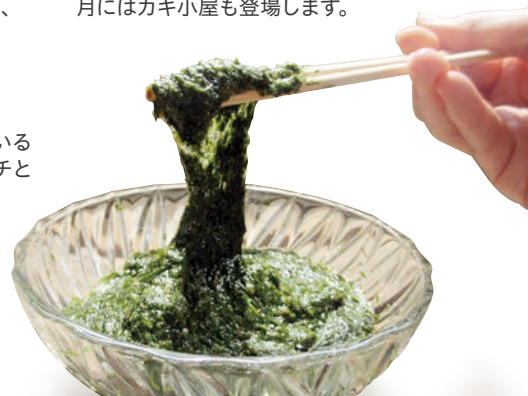


豊前海一粒かき

豊前海で養殖されるカキは、初冬になると身入りのよい大粒に成長します。産地直売や宅配便での販売のほか、12～3月にはカキ小屋も登場します。

あかもく

あかもくの特長は、今、注目を浴びているフコダインを多く含んだ粘り気。モチモチとした食感で、臭みもなくさっぱりしているため、そのまま三杯酢などで食べるのももちろん、どんな料理に入れても相性が良いと評判です。



北九州市はお祭りが盛ん!

イベント de 文化創造

伝統的な祭りから、新しいスタイルのフェスティバルまで、北九州市ではさまざまなイベントが開催されています。祭り好きの市民が楽しく盛り上がり、豊かな文化を創造しています。



わっしょい百万夏まつり

毎年8月第1土曜日および日曜日の2日間

「わっしょいYOSAKOI」のにぎやかな踊りで幕を開ける夏の風物詩。北九州各地の夏祭りが初日の一夜限り、小倉小文字通りに大集合します。小倉祇園太鼓や戸畑祇園大山笠、黒崎祇園山笠など、各地の顔というべき山笠や山車が集結。圧倒されんばかりの迫力と活気は、翌日の「百万踊り」でピークに達します。レーザー光線と音楽が織り成す花火ショーがフィナーレを飾り、市民参加の大イベントは幕を閉じます。



関門海峡花火大会 毎年8月13日

関門海峡をはさんで、門司港と下関の両岸から競うように花火が打ち上げられます。大玉や音楽花火など趣向もさまざまで、打ち上げ数は双方合わせて約1万5,000発。目の前の花火を楽しみながら関門海峡ごしにも花火が眺められ、ほかでは味わえないぜいたくな一夜が楽しめます。

私が何を求めて
旅をしているか
わかっているようね



首都圏クラスの大イベント



TGC北九州2017 西日本総合展示場新館

平成27年10月、史上最大級のファッションフェスタ「東京ガールズコレクション」の地方創生プロジェクト第1弾として開催され、大好評だったTGC北九州。さらに進化した形で、今年も10月21日に開催されました。商業施設や地域イベントとも連携し、より多くの若者や女性が楽しめる企画が満載。北九州市に新しい文化や人の流れを作り出しました。



北九州ポップカルチャーフェスティバル2017

西日本総合展示場、あるあるCityなど

北九州市とあるあるCityがタイアップした、ポップカルチャーの一大イベント。平成26年から毎年盛大に開催されています。小倉駅新幹線口エリアで、漫画・ゲームなどの作品展示や体験型イベントを11月4日(土)・5日(日)の2日間にわたって楽しめます。

北九州市の歴史

明治 4年
平成29年

北九州市発足前

- 明治 4年【1871年】
 - 12月 豊津・中津・千束県を統合した小倉県を改廃し、福岡・小倉・三潁の県を置く
- 明治32年【1899年】
 - 4月 門司市制施行
- 明治33年【1900年】
 - 4月 小倉市制施行
- 明治34年【1901年】
 - 11月 官営八幡製鐵所作業開始式
- 大正 3年【1914年】
 - 4月 若松市制施行
- 大正 6年【1917年】
 - 3月 八幡市制施行
- 大正13年【1924年】
 - 9月 戸畑市制施行
- 昭和17年【1942年】
 - 7月 関門鉄道トンネル開通
- 昭和34年【1959年】
 - 6月 小倉市が米国のタコマ市と姉妹都市締結
 - 7月 門司市が米国のノーフォーク市と姉妹都市締結
- 昭和37年【1962年】
 - 9月 若戸大橋開通



建設中の官営八幡製鐵所東田溶鉱炉



開通当初の若戸大橋

昭和38年【1963年】

2月10日 北九州市発足

(門司・小倉・若松・八幡・戸畑の5市が対等合併)



- 3月11日 初市議会開会
- 3月15日 市長選挙、初代市長に吉田法晴氏
- 4月 1日 政令指定都市となる
- 昭和39年【1964年】
 - 4月19日 世界初の5市対等合併調査のため国連調査団が来市
- 昭和40年【1965年】
 - 2月20日 北九州市長期総合基本計画決定
 - 9月 1日 ばい煙規制法の全面適用を受ける
- 昭和42年【1967年】
 - 2月23日 市長選挙、2代(～6代)市長に谷伍平氏
- 昭和44年【1969年】
 - 4月15日 戸畑共同火力(株)と第1号の公害防止協定締結
- 昭和45年【1970年】
 - 4月 1日 北九州市公害防止条例公布
- 昭和47年【1972年】
 - 4月10日 新市庁舎開庁
- 昭和48年【1973年】
 - 11月14日 関門橋開通
- 昭和49年【1974年】
 - 3月23日 北九州市基本構想策定
 - 4月 1日 7区制発足
- 昭和52年【1977年】
 - 5月14日 西日本総合展示場開設
- 昭和53年【1978年】
 - 10月 1日 救命救急センター開設
- 昭和54年【1979年】
 - 5月 1日 中国の旅大市(現・大連市)と友好都市締結



新市庁舎

- 昭和56年【1981年】
 - 1月16日 太刀浦コンテナターミナル開設
- 昭和59年【1984年】
 - 2月16日 同和対策総合計画策定
- 昭和60年【1985年】
 - 1月 9日 北九州市モノレール開業
 - 4月 1日 都市景観条例施行
- 昭和61年【1986年】
 - 7月 5日 アドベンチャープール開設
- 昭和62年【1987年】
 - 2月 8日 市長選挙、7代(～11代)市長に末吉興一氏
 - 10月 1日 民事暴力相談センター開設
- 昭和63年【1988年】
 - 4月 1日 同和対策実施計画(63年度～66年度)策定
 - 7月29日 第1回わっしょい百万夏まつり開催(～31日)
 - 12月 9日 北九州市基本構想・部門別計画[北九州市ルネッサンス構想]策定
 - 12月20日 韓国の仁川直轄市(現・仁川広域市)と姉妹都市締結
- 平成元年【1989年】
 - 3月26日 ひびき動物ワールド開園
 - 11月 1日 文書館開設・北九州市情報公開制度発足
- 平成 2年【1990年】
 - 6月 5日 国連環境計画「グローバル500」受賞
 - 10月 6日 北九州国際会議場開設
- 平成 3年【1991年】
 - 5月 7日 市立医療センター(旧小倉病院)開設
 - 7月22日 レムチャパン港(タイ)と姉妹港を締結
- 平成 4年【1992年】
 - 3月28日 第1回パラグライダーワールドカップ開催(～4月5日)
 - 4月 1日 グリーンパーク開園
 - 6月 1日 日明工場粗大ごみ資源化センター開設
 - 6月 4日 地球サミットで国連地方自治体表彰受賞
- 平成 5年【1993年】
 - 4月27日 北九州市高齢化社会対策総合計画策定
 - 7月 7日 かん・びん分別収集開始
 - 7月30日 響ホール開設
- 平成 7年【1995年】
 - 3月25日 門司港レトログランドオープン
 - 7月 1日 女性センター「ムーブ」開設
- 平成 8年【1996年】
 - 2月21日 大連環境モデル地区整備計画がODAに採択
 - 4月26日 北九州市障害者施策推進基本計画策定
 - 8月31日 白島石油備蓄基地完成
- 平成 9年【1997年】
 - 7月10日 国のエコタウン事業承認地域に決定
 - 11月 5日 ペットボトル分別収集開始
- 平成10年【1998年】
 - 4月 1日 北九州市モノレール延伸(JR小倉駅と結節)
 - 7月 1日 一般ごみ指定袋制開始
 - 7月14日 全国最大規模のペットボトル再生処理工場操業開始
 - 8月 4日 松本清張記念館開設
 - 9月29日 小倉城庭園開園
 - 10月 4日 メディアドーム開設
- 平成11年【1999年】
 - 10月 1日 総合保健福祉センター「アシスト21」開設
 - 11月11日 ピッツバーグ市(米国)と国際ビジネスパートナー都市提携調印
- 平成12年【2000年】
 - 3月23日 市役所庁舎がISO14001(環境管理の国際規格)の認証取得
 - 8月31日 アジア・太平洋環境大臣会議in北九州開催(～9月5日)
 - 9月27日 北九州フィルム・コミッション設立



北九州市モノレール



北九州国際会議場



響ホール



メディアドーム

- 平成13年【2001年】
 - 1月 1日 北九州環境基本条例施行
 - 1月 1日 長崎街道木屋瀬宿記念館を開設
 - 6月27日 北九州市エコタウンセンター開設
 - 7月 4日 ジャパンエキスポ「北九州博覧祭2001」開催(～11月4日)
 - 11月16日 子どもの館「HOW!？」開設
- 平成14年【2002年】
 - 2月26日 北九州市人権・同和行政の基本方針策定
 - 4月 6日 環境ミュージアム開設
 - 4月13日 到津の森公園開園
 - 8月23日 世界車椅子バスケットボール選手権大会「北九州ゴールドカップ」開催(～9月1日)
 - 11月 3日 いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)開設
- 平成15年【2003年】
 - 4月 1日 早稲田大学大学院情報生産システム研究科と北九州市立大学大学院国際環境工学研究科が北九州学術研究都市に開設
 - 4月20日 平尾台自然の郷開園
 - 8月11日 北九州芸術劇場を開設
- 平成16年【2004年】
 - 8月26日 若者ワークプラザ北九州開設
 - 9月28日 ホームレス自立支援センター北九州開設
- 平成17年【2005年】
 - 4月 1日 ひびきコンテナターミナル供用開始
 - 10月25日 北九州市自然環境保全計画策定
 - 12月23日 子育てふれあい交流プラザ「元気のもり」開設
- 平成18年【2006年】
 - 2月26日 東九州自動車道(北九州)CT～苅田北九州空港IC)開通
 - 3月16日 新・北九州空港開港
 - 11月 1日 文学館開設
- 平成19年【2007年】
 - 1月25日 北九州市国民保護計画策定
 - 2月 4日 市長選挙、12代(～現在)市長に北橋健治氏
 - 4月 2日 プラスチック資源化センター稼働開始
 - 4月21日 北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)開設
 - 5月27日 政令市初・九州初の「ほたるサミット」開催(～28日)
 - 6月 1日 紫川マイタウン・マイリバー整備地区が都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」受賞
 - 6月 1日 全国初の「リサイクルポート」供用開始
 - 7月 1日 北九州学術研究都市にカー・エレクトロニクスセンター開設
 - 7月18日 北九州市集客交流計画(にぎわいづくりプラン)策定
- 平成20年【2008年】
 - 4月 1日 モラルマナーアップ関連条例施行
 - 7月22日 「環境モデル都市」に国が認定
 - 10月 2日 北九州市応援団を発足
 - 12月 8日 北九州市基本構想・基本計画「元気発進!北九州プラン」を策定
- 平成21年【2009年】
 - 4月17日 ベトナム・ハイフォン市と交流協定締結
 - 5月25日 「北九州市食育推進計画」を策定
 - 7月27日 「北九州次世代エネルギーパーク」をオープン
 - 9月18日 八幡東区東田に「北九州水素ステーション」が完成
 - 11月13日 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を策定
- 平成22年【2010年】
 - 2月10日 北九州市非核平和都市宣言
 - 4月 2日 「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に国が選定
 - 6月 3日 ロシア・チェリャビンスク市と経済協力協定を締結
 - 6月 4日 アジア低炭素化センターを開設
 - 7月 1日 北九州市暴力団排除条例を施行
 - 10月 1日 北九州市自治基本条例を施行
- 平成23年【2011年】
 - 3月 9日 初の海外水ビジネスをカンボジア・シェムリアップ市で受注



世界車椅子バスケットボール



北九州空港

- 3月12日 東日本大震災の被災地支援開始
- 4月 6日 被災地支援のための「絆プロジェクト」開始
- 6月17日 経済協力開発機構(OECD)からグリーンシティプログラムの中のグリーン成長都市に認定
- 10月11日 全区役所でワンストップサービス開始
- 12月22日 環境未来都市、国際戦略総合特区に選定
- 平成24年【2012年】
 - 4月 2日 水・環境ソリューションハブに国が認定
 - 7月 1日 黒崎副都心「文化・交流拠点地区」オープン
 - 8月 3日 漫画ミュージアム開設
 - 8月31日 東日本大震災による宮城県石巻市の災害廃棄物の受け入れについて、宮城県と委託契約を締結
 - 9月15日 新若戸道路(若戸トンネル)が開通
 - 10月 6日 響灘ピオトーブオープン
 - 10月20日 ご当地グルメの祭典!B-1グランプリin北九州を開催(～21日)
 - 11月12日 スラバヤ市(インドネシア)と環境姉妹都市に関する覚書を締結
- 平成25年【2013年】
 - 2月 6日 独立行政法人国際協力機構(JICA)と環境に関する連携協定を締結
 - 2月10日 市制50周年記念式典を開催
 - 3月17日 北九州まなびとESDステーションオープン
 - 3月28日 北九州市新成長戦略を策定
 - 5月23日 OECDグリーンシティ・プログラムの北九州レポートが発行
 - 7月11日 日本貿易振興機構(ジェトロ)と連携協定を締結
 - 8月23日 市制50周年記念事業「市民太陽光発電所」が竣工
 - 9月17日 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が世界文化遺産に推薦決定
 - 10月25日 産業用ロボット導入支援センターを開設
- 平成26年【2014年】
 - 2月 9日 市制50周年記念 北九州マラソン2014を開催
 - 4月18日 ベトナム・ハイフォン市と姉妹都市協定を締結
 - 6月25日 新成長戦略 都心集客アクションプランの公表
 - 7月 1日 「北九州市安全・安心条例」施行
 - 10月 9日 ベトナム・ハイフォン下水道排水公社と下水道技術協力・交流に関する覚書を締結
 - 10月10日 夜景サミット2014in北九州開催
 - 10月23日 北九州フィルム・コミッション「東京ドラマアウォード2014特別賞」受賞
- 平成27年【2015年】
 - 3月17日 「洋上風力発電モデル地域」採択
 - 4月17日 官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース開設
 - 4月23日 日明浄化センター新管理棟(ビジターセンター)完成
 - 7月 8日 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録
 - 10月17日 「TGC KITAKYUSHU 2015 by TOKYO GIRLS COLLECTION」を初開催
- 平成28年【2016年】
 - 1月29日 国家戦略特区に指定
 - 3月29日 カンボジアの首都・プノンペン都と姉妹都市協定を締結
 - 4月24日 東九州自動車道(北九州市～宮崎中間)が全線開通
 - 5月1・2日 G7北九州エネルギー大臣会合開催
 - 5月23日 ウーマンワークカフェ北九州を開設
 - 7月 2日 「50歳から住みたい地方ランキング」で北九州市が全国第1位を獲得
 - 8月29日 国家戦略特区「シニア・ハローワーク戸畑」開所
 - 11月10日 第2回世界獣医師会・世界医師会「One Health」に関する国際会議(～11日)
 - 12月 1日 戸畑祇園大山笠行事のユネスコ無形文化遺産登録(現地時間11月30日)
- 平成29年【2017年】
 - 3月12日 ミクニワールドスタジアム北九州(北九州スタジアム)グランドオープン
 - 4月28日 日本遺産「関門「ノスタルジック」海峡」認定
 - 5月10日 証明書コンビニ交付サービス開始
 - 7月10日 平成29年7月九州北部豪雨災害復旧・支援本部の設置



漫画ミュージアム



北九州マラソン2014

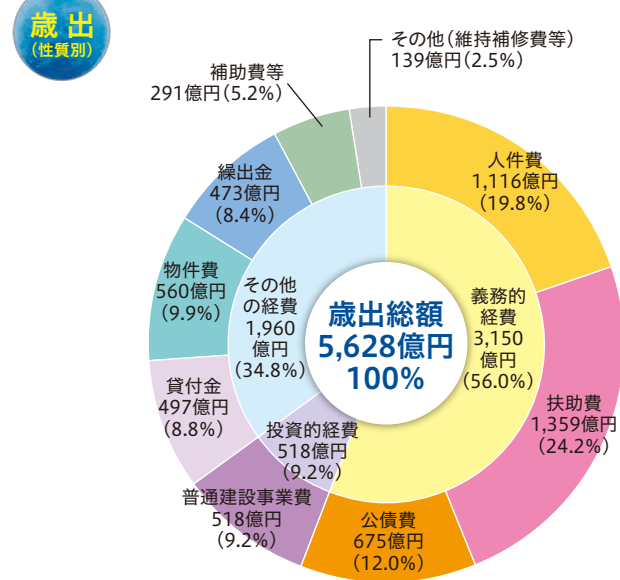
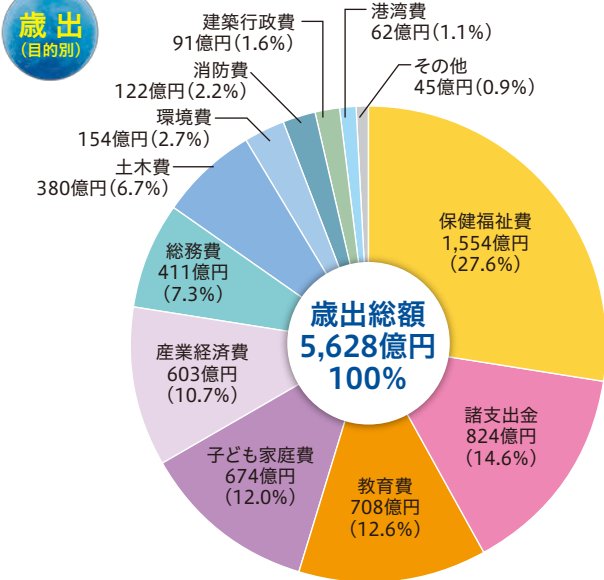
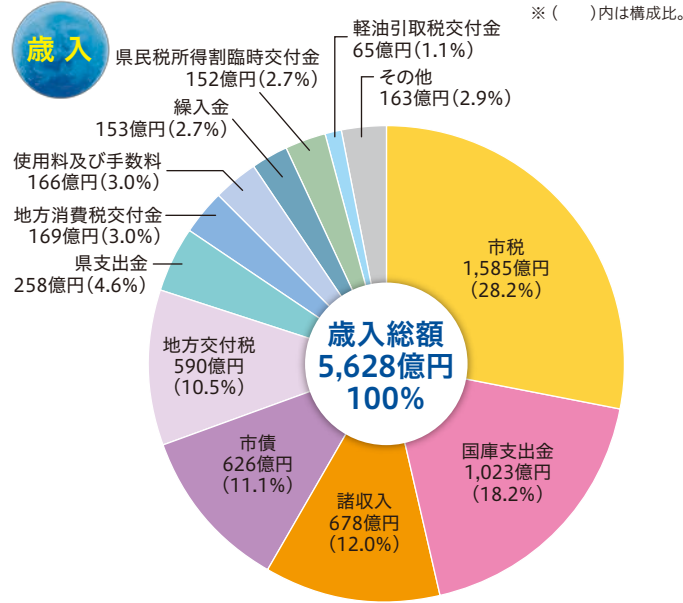
データで見る北九州市

平成29年度一般会計予算(歳入・歳出)

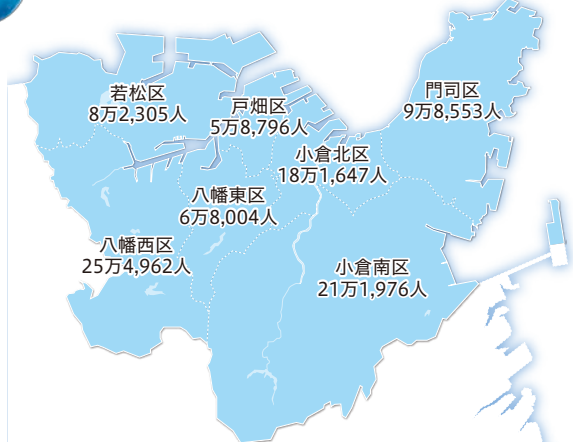
平成29年度予算は「住みよいまち・北九州市発信予算」をキャッチフレーズに、次の5つの柱を重点的に取り組んでいます。

- ①新しいひとの流れをつくり、女性や若者が定着するまちの創出
- ②学校施設等公共施設の老朽化対策の推進
- ③本市の強みを活かし、魅力あるしごとを創出
- ④安心して子どもを産み育てることのできるまちの創出
- ⑤誰もが安心して暮らせるまちの創出

市税や地方交付税など一般財源に限られる中、より一層の事業の選択と集中を図るとともに、行財政改革を絶え間なく進め、今後も安定した行政サービスを提供し、「住みよいまち・北九州市」を積極的に発信していきます。



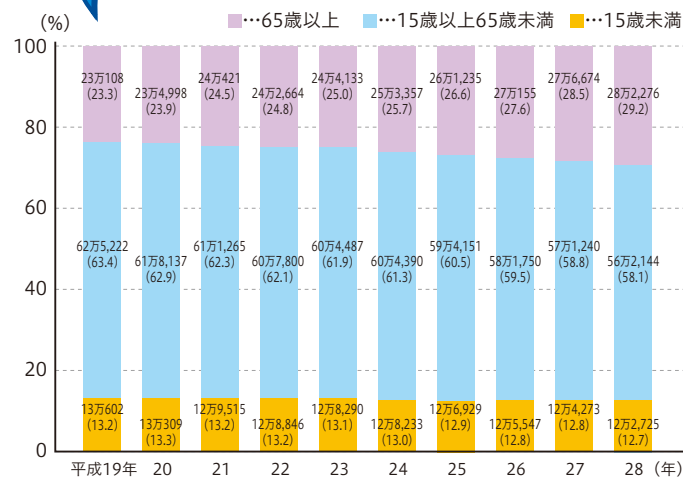
人口 総数…95万6,243人 ※平成28年10月1日現在 (対前年同月比5,043人減)



世帯数…42万7,701世帯 面積…491.95km²

※平成27年国勢調査に基づく推計人口および世帯数。面積は平成28年10月1日現在。

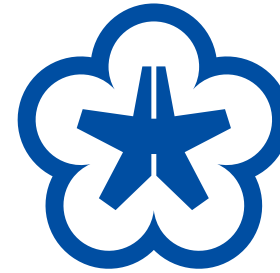
年齢3区分別人口の推移(各年9月30日現在)



※住民基本台帳に基づく人口。24歳以降は外国人も含む。

北九州市アラカルト

市章



市章を形づくる5つの花びらは、合併による旧5市の一体化を表し、中央は北九州の「北」と九州の「九」、および「大」の字を表しています。また、星形の図案は、歯車で工業を、放射形で市の発展を、それぞれ表しています。

北九州市7区の紹介

門司区 門司港レトロ地区をはじめとする豊かな観光資源を有し、海峡と歴史のロマンあふれるまち。九州の陸、海の交通の要衝として、交流も盛んです。	小倉北区 商業や流通、金融、情報、医療、コンベンションなどの機能が集積した、北九州都市圏の中核をなすまち。城下町としての歴史や文化も薫ります。	小倉南区 日本有数のカルスト台地として知られる平尾台等、多彩で豊かな自然に加えて、北九州空港や自動車産業など、新しい産業が息づく躍進のまちです。	
若松区 若松北海岸やグリーンパーク等の豊かな自然に加え、環境産業のまちとしてエコタウン事業、次世代エネルギー関連施設などの集積が進んでいます。	八幡東区 官営八幡製鐵所関連施設を始め近代化産業遺産が数多く、皿倉山からの眺望は新日本三大夜景に選定。環境分野の先進的な取り組みも注目されています。	八幡西区 市内で最も人口が多く、充実した都市機能をもつ副都心。学園都市のにぎわいや長崎街道旧宿町などの歴史、美しい自然が融合するまちです。	戸畑区 ユネスコ無形文化遺産の「戸畑祇園大山笠行事」を有する歴史に加え、教育、文化、福祉などの施設が充実。心豊かで快適な生活が楽しめる、文教のまちです。

北九州市の花とシンボルツリー

昭和57年に市民の皆さんからの応募をもとに、市の花として「つつじ」と「ひまわり」を制定しました。「つつじ」は、公園や公共施設などで、市民に広く親しまれている花です。「ひまわり」は花が太陽に向き、活力にあふれていることから、ダイナミックな北九州市を象徴する花です。「いちいがし」はブナ科の高木で、幹は枝分かれが少なく直立し、高さ30m以上、直径1m以上に成長します。天に向かってそびえる姿が美しく、北九州市域の郷土樹であることから、シンボルツリーに選ばれています。



姉妹都市・友好都市

タコマ市(アメリカ) 昭和34年(1959年)6月、姉妹都市を締結。シアトル市の南方に位置し、コメンスメント湾に面したワシントン州第3の都市。 ●人口約20万人 ●面積129km ²	ノーフォーク市(アメリカ) 昭和34年(1959年)7月、姉妹都市を締結。バージニア州チェサピーク湾に臨む約300年の歴史を持つ都市。 ●人口約25万人 ●面積140km ²		
大連市(中国) 昭和54年(1979年)5月、友好都市を締結。遼東半島の南端に位置し、中国東北地方最大の貿易港である大連港を擁する港湾都市。 ●人口約594万人 ●面積1万2,574km ²	仁川広域市(韓国) 昭和63年(1988年)12月、姉妹都市を締結。首都・ソウルの西方約28kmに位置する韓国西海岸の交通・産業の中心都市。 ●人口約300万人 ●面積1,046km ²		
ハイフォン市(ベトナム) 平成26年(2014年)4月、姉妹都市を締結。ベトナム北部、首都ハノイ市の東100kmに位置する北部最大の港湾都市。 ●人口約196万人 ●面積1,523km ²	プノンペン都(カンボジア) 平成28年(2016年)3月、姉妹都市を締結。カンボジアの首都で、政治・経済・文化の中心地であり、カンボジア唯一の大都市。 ●人口約201万人 ●面積684km ²		